



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月5日

上場取引所 東

上場会社名 ゼリア新薬工業株式会社

コード番号 4559 URL <http://www.zeria.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼COO

(氏名) 伊部 充弘

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役広報部長

(氏名) 森山 茂

TEL 03-3661-1039

四半期報告書提出予定日 平成26年8月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	14,715	△4.1	858	△69.9	943	△69.4	1,048	△56.9
26年3月期第1四半期	15,340	19.3	2,853	218.0	3,082	183.4	2,435	173.8

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 435百万円 (△85.2%) 26年3月期第1四半期 2,947百万円 (141.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	19.74	—
26年3月期第1四半期	53.56	—

(注) 当社は、平成25年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき1.1株の割合で株式分割を実施しております。そのため、1株当たり四半期純利益につきましては、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第1四半期	95,780	59,134	61.7	1,113.30
26年3月期	99,493	58,734	59.0	1,105.78

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 59,134百万円 26年3月期 58,734百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	14.00	—	15.00	—
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	15.00	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき1.1株の割合で株式分割を実施しております。なお、平成26年3月期第2四半期末の配当金につきましては、当該株式分割前の実際の金額を記載しております。

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	32,000	6.3	3,500	△13.8	3,500	△17.1	2,900	△13.1	54.60
通期	69,000	11.3	7,400	9.0	7,400	8.8	5,800	9.9	109.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P.3「2.サマリー情報(注記事項)」に関する事項(2)「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.3「2.サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期1Q	53,119,190 株	26年3月期	53,119,190 株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	2,884 株	26年3月期	2,796 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期1Q	53,116,384 株	26年3月期1Q	45,472,811 株

(注) 当社は、平成25年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき1.1株の割合で株式分割を実施しております。そのため、上記の株式数につきましては、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
5. 補足情報	10
(1) 販売実績	10
(2) 新薬パイプラインの状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、全体としては緩やかな回復基調を続けているとはいえ、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動や海外景気の下振れリスクもあり、先行き不透明な環境下で推移いたしました。

医薬品業界におきましては、医療用医薬品は、本年4月に薬価改定が行われるとともに、後発医薬品の使用促進などの医療費抑制策が引き続き推進されており、またOTC医薬品市場におきましても、依然として国内需要の前年割れの状況が続いており、ともに厳しい環境下で推移いたしました。

このような状況の中、当第1四半期連結累計期間の売上高は、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動の影響や、ライセンス及びロイヤリティ収入の減少などから、147億15百万円（前年同四半期比4.1%減）となりました。一方、利益につきましては、減収による売上総利益の減少や、研究開発費や広告宣伝費などの経費が大きく増加したことなどから、営業利益8億58百万円（前年同四半期比69.9%減）、経常利益9億43百万円（前年同四半期比69.4%減）、四半期純利益10億48百万円（前年同四半期比56.9%減）となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間の海外売上高比率は、17.5%（前連結会計年度13.4%）となっております。セグメント別の業績は、次のとおりであります。

① 医療用医薬品事業

主力製品である潰瘍性大腸炎治療剤「アサコール[®]」は、海外におきましてはTillotts Pharma AGの自販体制の強化を通じ、引き続き売上を拡大いたしました。一方、国内におきましては、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動から、増収は確保したものの売上の伸びが鈍化いたしました。また、H₂受容体拮抗剤「アシノン[®]」
亜鉛含有胃潰瘍治療剤「プロマック[®]」などの製品は、本年4月の薬価改定や後発医薬品の使用促進の影響を受けて苦戦いたしました。なお、機能性ディスペプシア治療剤「アコファイド[®]錠 100mg」は、アステラス製薬株式会社と共同で早期の市場浸透に努めております。

これらの結果、当事業の売上高は、82億80百万円（前年同四半期比15.6%減）となりました。

② コンシューマーヘルスケア事業

主力製品群である「ヘパリーゼ[®]群」につきましては、テレビCMなどの広告宣伝投資を積極的に展開した結果、製品認知度がさらに向上し、売上を拡大いたしました。なかでもコンビニエンスストア向けの「ヘパリーゼ[®]W群」は、前年度に引き続き売上を大きく拡大しております。「コンドロイチン群」につきましては、医薬品としての有効性、安全性、高品質を訴求し、健康食品との違いを明確にした販売活動を行った結果、順調に売上を拡大いたしました。

これらの結果、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動はありましたが、当事業の売上高は、63億97百万円（前年同四半期比17.0%増）となりました。

③ その他

保険代理業・不動産賃貸収入などにより、当事業の売上高は37百万円（前年同四半期比33.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は957億80百万円となり、前連結会計年度末対比37億13百万円の減少となりました。その内訳は流動資産が478億83百万円で、前連結会計年度末対比20億18百万円の減少、固定資産が478億96百万円で、前連結会計年度末対比16億94百万円の減少となっております。流動資産の増減の主なものは、現金及び預金の減少23億83百万円、受取手形及び売掛金の減少2億78百万円、商品及び製品等のたな卸資産の増加4億70百万円、前渡金の増加等流動資産のその他の増加1億73百万円であります。また、固定資産の増減の主なものは、投資その他の資産の減少11億3百万円であります。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は366億45百万円となり、前連結会計年度末対比41億13百万円の減少となりました。その内訳は流動負債が226億27百万円で、前連結会計年度末対比33億25百万円の減少、固定負債が140億18百万円で、前連結会計年度末対比7億87百万円の減少となっております。流動負債の増減の主なものは、支払手形及び買掛金の減少5億34百万円、短期借入金の減少14億31百万円、賞与引当金の減少12億75百万円、未払費用の増加等流動負債のその他の増加8億26百万円であります。また、固定負債の増減の主なものは、長期借入金の減少6億70百万円であります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は591億34百万円となり、前連結会計年度末対比3億99百万円の増加となりました。これは、四半期純利益の計上10億48百万円、前期末配当の実施7億96百万円、退職給付に関する会

計基準等の適用による利益剰余金の増加4億80百万円、その他有価証券評価差額金の減少3億41百万円等によるものであります。

これらの結果、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は前連結会計年度末と比べ2.7%上昇し、61.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期の連結業績は、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動に加え、研究開発費の増加等により、前年同四半期対比大幅な減益となりました。しかしながら、第2四半期以降はアサコールの国内外における売上の伸びとともにアコファイドの市場浸透やコンシューマーヘルスケア製品の売上拡大が見込まれるため、平成26年5月13日に公表いたしました平成27年3月期の第2四半期（累計）および通期の連結業績予想は変更しておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、当第1四半期連結累計期間より、Tillotts Pharma AB、Tillotts Pharma Ltd、Tillotts Pharma UK Ltd、Tillotts Pharma Czech s.r.o.、Tillotts Pharma Spain S.L.U.、Tillotts Pharma GmbHは重要性が増加したため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（退職給付に関する会計基準等の適用）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を反映した単一の割引率を使用する方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る資産が747百万円増加し、利益剰余金が480百万円増加しております。なお、この変更による当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,202,305	19,819,033
受取手形及び売掛金	15,484,792	15,205,985
商品及び製品	3,771,759	4,215,185
仕掛品	1,163,242	1,155,723
原材料及び貯蔵品	2,798,875	2,833,704
その他	4,491,672	4,664,981
貸倒引当金	△10,391	△11,298
流動資産合計	49,902,257	47,883,317
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	7,037,045	6,922,030
土地	11,578,907	11,577,740
その他（純額）	3,336,905	3,190,111
有形固定資産合計	21,952,858	21,689,882
無形固定資産		
のれん	12,240,878	11,957,866
その他	1,010,102	965,137
無形固定資産合計	13,250,980	12,923,004
投資その他の資産		
投資有価証券	10,544,540	8,806,638
退職給付に係る資産	2,023,268	2,873,576
その他	1,867,929	1,651,169
貸倒引当金	△47,969	△47,437
投資その他の資産合計	14,387,768	13,283,946
固定資産合計	49,591,607	47,896,834
資産合計	99,493,864	95,780,151
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,718,208	3,183,904
短期借入金	12,593,804	11,162,664
未払法人税等	1,899,452	1,022,058
賞与引当金	1,906,693	631,040
返品調整引当金	110,726	98,899
売上割戻引当金	188,133	166,211
その他	5,536,037	6,362,707
流動負債合計	25,953,055	22,627,486
固定負債		
長期借入金	13,867,486	13,196,800
退職給付に係る負債	154,140	157,586
資産除去債務	73,705	73,874
その他	710,679	589,860
固定負債合計	14,806,011	14,018,120
負債合計	40,759,066	36,645,606

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,593,398	6,593,398
資本剰余金	12,716,418	12,716,418
利益剰余金	34,717,906	35,679,868
自己株式	△2,679	△2,886
株主資本合計	54,025,044	54,986,799
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,307,527	965,796
為替換算調整勘定	3,533,211	3,284,589
退職給付に係る調整累計額	△130,984	△102,640
その他の包括利益累計額合計	4,709,754	4,147,744
純資産合計	58,734,798	59,134,544
負債純資産合計	99,493,864	95,780,151

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自平成25年4月1日 至平成25年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自平成26年4月1日 至平成26年6月30日）
売上高	15,340,461	14,715,798
売上原価	4,162,396	4,828,847
売上総利益	11,178,064	9,886,951
返品調整引当金戻入額	105,777	110,726
返品調整引当金繰入額	107,940	98,899
差引売上総利益	11,175,900	9,898,778
販売費及び一般管理費	8,322,118	9,040,576
営業利益	2,853,782	858,201
営業外収益		
受取利息	2,402	3,894
受取配当金	158,316	142,263
為替差益	101,866	—
その他	32,650	38,910
営業外収益合計	295,235	185,069
営業外費用		
支払利息	58,772	55,628
為替差損	—	38,390
その他	7,620	5,947
営業外費用合計	66,392	99,966
経常利益	3,082,625	943,304
特別利益		
固定資産売却益	140	—
投資有価証券売却益	523,286	771,725
特別利益合計	523,427	771,725
特別損失		
固定資産除却損	16	768
特別損失合計	16	768
税金等調整前四半期純利益	3,606,036	1,714,262
法人税等	1,172,476	665,563
少数株主損益調整前四半期純利益	2,433,559	1,048,699
少数株主損失（△）	△2,057	—
四半期純利益	2,435,617	1,048,699

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,433,559	1,048,699
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,467	△341,730
為替換算調整勘定	510,946	△299,417
退職給付に係る調整額	—	28,343
その他の包括利益合計	514,413	△612,803
四半期包括利益	2,947,973	435,895
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,938,921	435,895
少数株主に係る四半期包括利益	9,052	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医療用 医薬品事業	コンシュー マーヘルス ケア事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	9,815,888	5,467,961	15,283,849	56,611	15,340,461	—	15,340,461
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	60	60	118,315	118,375	△118,375	—
計	9,815,888	5,468,021	15,283,909	174,927	15,458,836	△118,375	15,340,461
セグメント利益	3,183,912	912,716	4,096,629	57,128	4,153,757	△1,299,975	2,853,782

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業及び不動産業等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,299,975千円は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成26年4月1日 至平成26年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医療用 医薬品事業	コンシュー マーヘルス ケア事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	8,280,451	6,397,810	14,678,261	37,537	14,715,798	—	14,715,798
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	43	43	130,774	130,817	△130,817	—
計	8,280,451	6,397,853	14,678,305	168,311	14,846,616	△130,817	14,715,798
セグメント利益	798,520	1,229,754	2,028,275	60,876	2,089,151	△1,230,949	858,201

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業及び不動産業等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,230,949千円は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

5. 補足情報

(1) 販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：千円)

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	前年同四半期比 増減(△)率(%)
医療用医薬品事業	8,280,451	△15.6
コンシューマーヘルスケア事業	6,397,810	17.0
報告セグメント計	14,678,261	△4.0
その他	37,537	△33.7
合計	14,715,798	△4.1

(注) 1.セグメント間の取引については、相殺消去しております。

2.金額は消費税等抜きで表示しております。

(2) 新薬パイプラインの状況

I 国内開発状況

1) 消化器系分野

(平成26年8月5日現在)

開発段階	開発番号/一般名	開発	適応症	作用機序及び特長	備考
フェーズⅢ	Z-103/ ポラプレジンク	自社	味覚障害 プロマック®効能追加	亜鉛補充	導入品
フェーズⅢ	Z-206/ メサラジン	共同開発 (協和発酵キリン)	潰瘍性大腸炎 アサコール®用法用量追加	pH依存型放出調整製剤	自社 (Gr) 品
フェーズⅡ	Z-360	自社	膵臓癌	ガストリンCCK ₂ 受容体拮抗作用	自社品 アジア共同治験

2) その他の分野

開発段階	開発番号/一般名	開発	適応症	作用機序及び特長	備考
フェーズⅢ	Z-100	自社	子宮頸癌	免疫調節作用	自社品 アジア共同治験
フェーズⅠb	Z-213/ Ferric carboxymaltose	自社	鉄欠乏性貧血	静注鉄剤	導入品

II 海外開発状況

開発段階	開発番号/一般名	開発	適応症	作用機序及び特長	備考
承認申請中 (中国)	Z-206/ メサラジン	共同開発 (Tillotts Pharma AG)	潰瘍性大腸炎 アサコール®	pH依存型放出調整製剤	自社 (Gr) 品
フェーズⅢ (欧州)	Z-338/ アコチアミド	自社	機能的ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	自社品
フェーズⅢ準備中 (アジア)	Z-100	自社	子宮頸癌	免疫調節作用	自社品
フェーズⅡ終了 (北米)	Z-338/ アコチアミド	自社	機能的ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	自社品
フェーズⅡ (アジア)	Z-360	自社	膵臓癌	ガストリンCCK ₂ 受容体拮抗作用	自社品

自社(Gr)品：自社グループオリジナル品